

キーワード：

基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用

学力向上に向けた取組

函館市立椴法華中学校

1 課題

思考力・判断力・表現力の育成
 基礎的・基本的な学力の定着
 思いを伝えあうなど他者とかかわる力の育成

2 課題解決の具体策

言語活動を重視した授業改善
 少人数の特長を生かした補足的な学習の充実
 道徳の時間を軸にした支持的風土の醸成
 家庭・地域と連携した望ましい生活習慣の定着

3 取組の概要

思考を伴う表現力の育成を研究課題に位置づけた。
 ア 各教科の授業において生徒が深く考えまとめる、文章やことばで伝える、他者とかかわりの中で思考を深めるなどの場面を設け、継続的な指導を行った。
 イ 教育活動全体で生徒が発表する場を工夫した。

教科	言語活動を重視した活動例
国語	読み手、書き手を意識し感想を伝え合う授業
社会	経験と意見の違いを理解し合意形成を行う授業
数学	マイクロティーチャーの活用で学び合いを促す授業
理科	予想や結果から自分の意見をもち比較する授業
英語	達成感を味わわせ表現への意欲を持たせる授業
音楽	創作活動を通じて自分の思いを伝え合う授業
体育	チームの話し合いを通じて思考力を高める授業

基礎的・基本的な学力を定着させるため、少人数の特長を生かした次の取組を行った。

- ア 始業前や放課後にプリントなどの課題に取り組みさせるなど、個に応じた指導を行った。
- イ 基礎的な学力が定着していない生徒に対して、各教科での繰り返し学習などの個別指導を行った。
- ウ 放課後や長期休業中に学級・部活動単位で行う学習会などの取組。

生徒が他者とかかわりの中で自分を表現できる場を保障するために、ピア・サポートの取組をとおして、学校全体に支持的風土の醸成を図った。また、生徒指導の機能を生かした学習指導を積極的に行なった。



全国学力・学習状況調査の生活質問紙の結果や生徒アンケートから、家庭学習の習慣が定着していない生徒が多いことがわかった。そこで、「毎日30分、携帯電話の電源を切り、家庭学習や読書をする」こと(チャレンジ30)を呼び掛けた。学校便りやPTA活動、長期休業中の生徒の学習計画表などを通じて啓発するなど、家庭・地域との連携を図った。

2 成果と課題

学校全体で計画的に言語活動の場を設定したことで、自分の思いや考えを伝える力が高まった。表現活動が活発になったことで、学び合いが生まれ、生き生きと学ぶ姿が多く見られるようになった。放課後学習などの補足的な学習の継続により、「わかる喜び」が生まれ、学習意欲が向上した。これまでの取組を教育課程に位置づけることや、言語活動を支える言語技術の指導を充実させることで、さらなる学力の向上が期待できる。